



GENE TECHNO SCIENCE

Boundless Capability of Drug Discovery from The Ground

株式会社ジーンテクノサイエンス

2015年3月期第2四半期 決算説明会

2014年11月19日

証券コード: 4584

業績ハイライト

◆ 2015年3月期第2四半期(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
5/14発表予想(A)	155	△830	△807	△808	△339.10
実績(B)	145	△396	△369	△370	△155.51
増減額(B-A)	△9	434	437	437	

G-CSFは、納入量に若干の誤差が生じたものの、ほぼ計画どおりの売上を達成

開発プロセスを精査
↓
開発を遅らせることなく、支出時期の分散に成功！
↓
開発リスクを大幅に低減！

2015年3月期業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
2014年3月期実績(A)	301	△512	△516	△519	△240.15
2015年3月期予想(B)	310	△970	△946	△948	△397.97
増減額(B-A)	9	△458	△430	△429	

G-CSFの受注確定分のみ
ボトムラインの売上として計上
↓
アップサイドを積極的に追求！

① バイオ後続品2～3品目で
臨床試験に向けて、製造に関わる
開発費はピークに
↓
付加価値を飛躍的に高め、同時に
製薬企業への導出を目指す！

② 上半期に低減した開発費は、
現在検討中の新規案件用予算
として組み入れている

外部環境はどうか？

医療費抑制の切り札は？

ジェネリックが着実に普及する一方で医療費が減少しないのは何故か？



高価なバイオ医薬品が使用されることで
ジェネリック医薬品への切替えの効果が帳消しにされてしまっている



実際、がん治療の拠点病院の医薬品購入額の上位を見ると
バイオ医薬品が大半を占めている状況にある



医療費抑制のためにはバイオ後続品が必要不可欠！

G-CSF後続品の販売状況と期待

G-CSFは予想を超える立ち上がり！

- ①G-CSFが処方されている施設のうち約3割がバイオ後続品を導入済み。
- ②さらに、ポテンシャルの大きな施設が導入を決定あるいは検討段階に入っている。
- ③G-CSFのバイオ後続品市場の約70%を富士製薬工業と持田製薬が占めている。

(富士製薬工業ホームページ資料を要約)



ブレイクの予感！

当期および次期以降の当社業績に与える影響につきましては現在精査中であり、合理的な見積りが可能になったタイミングでお知らせいたします。

安定収益の売上拡大の可能性(来期)

事業推進のための重点施策

安定収益
(G-CSFの受注確定分)

ボトムラインの業績
拡大



ボトムラインの業績

次世代型G-CSF(PEG-G-CSF)の市場へ

Point 1

将来性

- ・G-CSFが売れるのであれば、次世代型も期待大！
- ・市場はG-CSFよりはるかに大きく欧米で5,000億円！

Point 2

順調な開発進捗

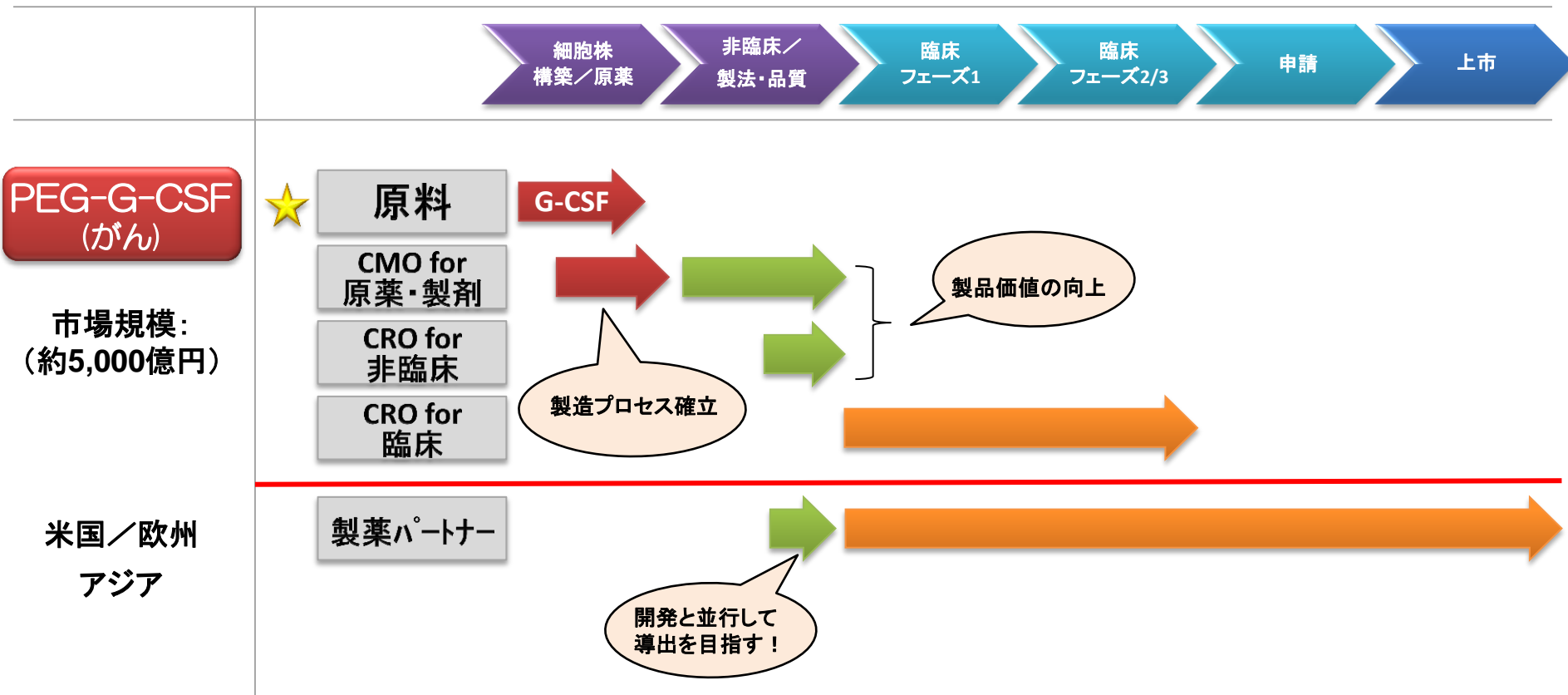
非臨床試験をスタート！

Point 3

アライアンス収益に期待

投資のステージから回収のステージへ！

開発スケジュール(PEG-G-CSF)



★確保

➡前年度までの実績

➡2014年度進捗

➡2015年度以降の予定

G-CSF後続品に続く開発も順調に進捗！

ダルベポエチンアルファ

(腎性貧血治療薬)

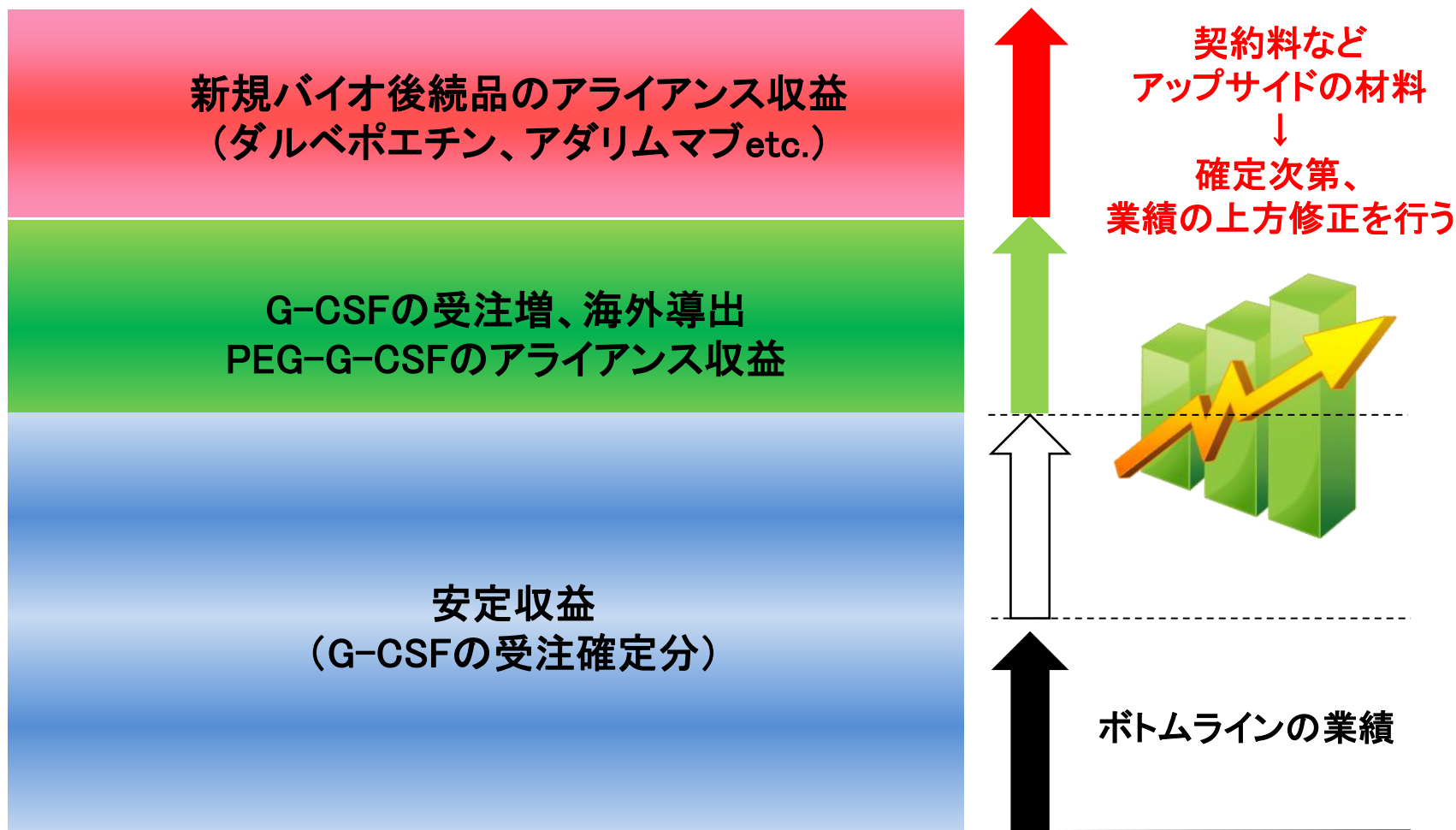
- ・国内では600億円の市場がある大型製剤
- ・製薬企業とのバリューチェーンを構築済み(将来収益の確保)
- ・早期臨床試験入りに向けて共同開発も順調に進捗

アダリムマブ

(関節リウマチ治療薬)

- ・約1兆円のグローバル市場をもつ筆頭ブロックバスター
- ・開発の成果をもって国内外製薬企業とのアライアンスへ

業績拡大に向けてのステップ



短期収益化分野と新たな注目分野

注目分野

1. ヘルスケア関連
2. 新たなメカニズムによる診断薬や薬と一体となった
コンパニオン診断薬
3. 医療機器・医療材料
4. 再生医療



市場の成長性やリスクを見極めながら、早期の事業化へ！

オルソリバース(株)との資本業務提携

- 目的: 1. 業績基盤の早期強化
2. 骨再生材料から再生医療への足掛かりに

《会社概要》

ORTHOREBIRTH株式会社(オルソリバース)

平成23年6月20日設立

横浜市都筑区茅ヶ崎東3-17-43

代表取締役社長 西川靖俊

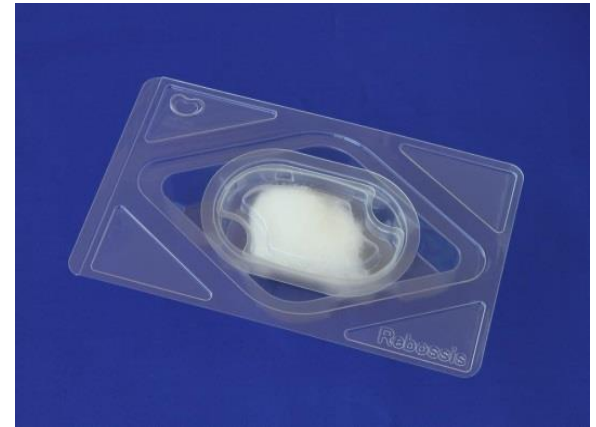
事業内容: 人工骨充填材の研究開発、製造販売



新形状人工骨充填材 “Rebossis™” (レボシス)とは

原材料

炭酸カルシウム (CaCO_3)、ケイ素 (Si)、ポリ乳酸 (PLLA)、
 β -リン酸三カルシウム (β -TCP) の混合体



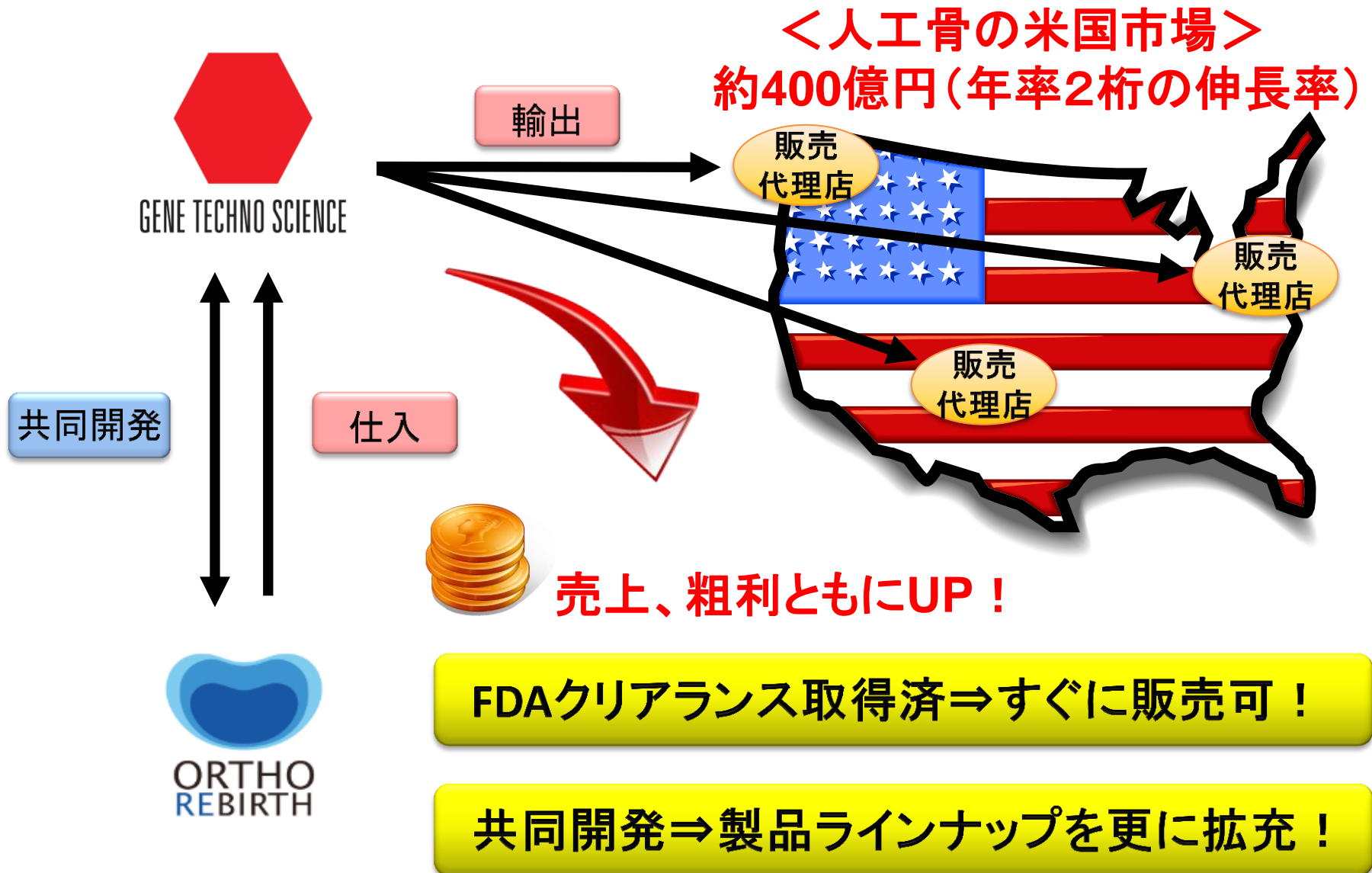
製品の特長

- 綿形状の人工骨のため、自由に取扱い、加工・調整ができ、施術時に利用しやすい
- 綿形状のため、BMA (成長因子) や血液、自家骨等と混ぜ易く、自由に調整できる
- MIS (Minimally Invasive spine Surgery) の際に、自家骨使用量を減少させ得る

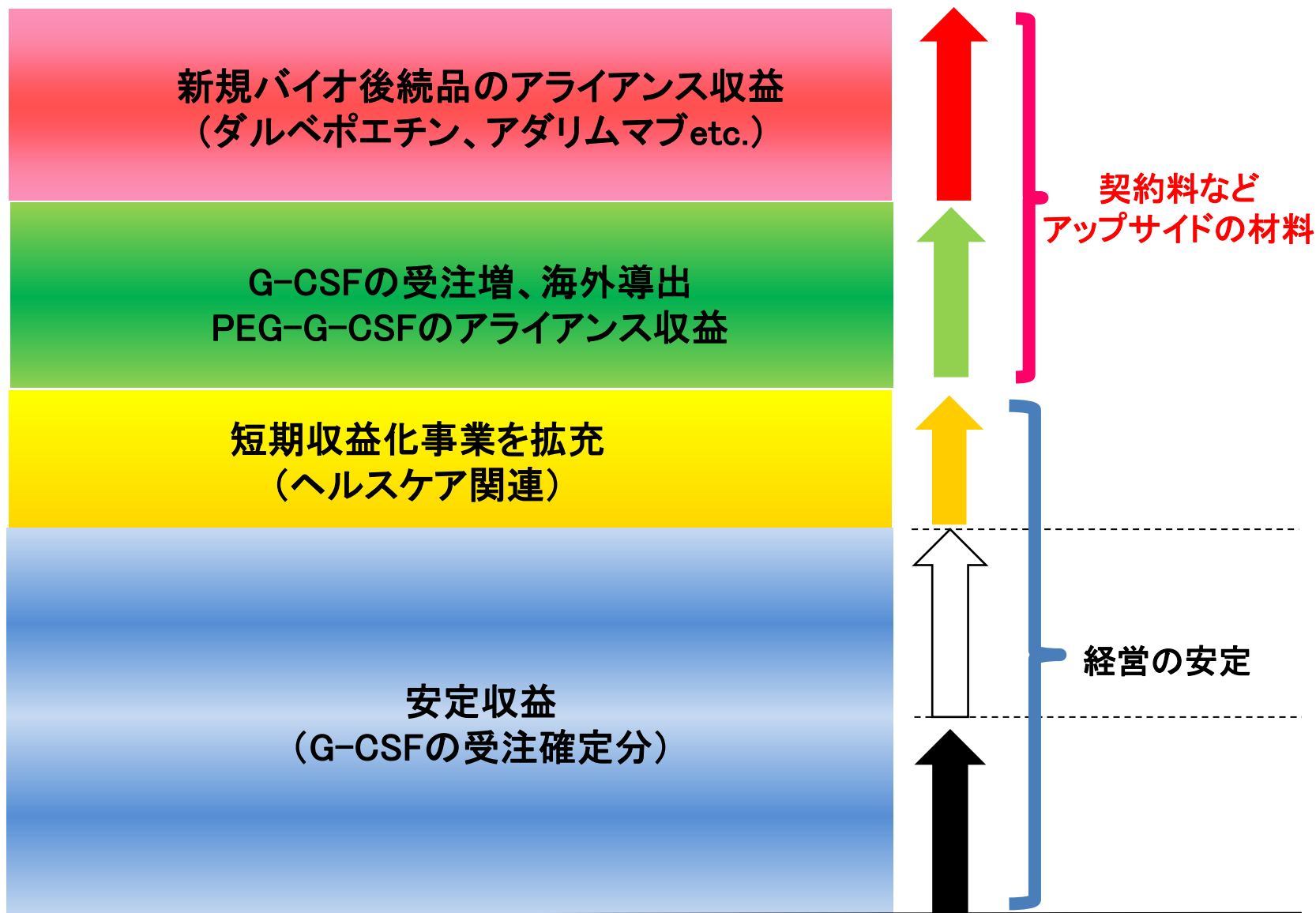
(ORTHOREBIRTH株式会社 の資料より)

人工骨Rebossisの拡販に向けて

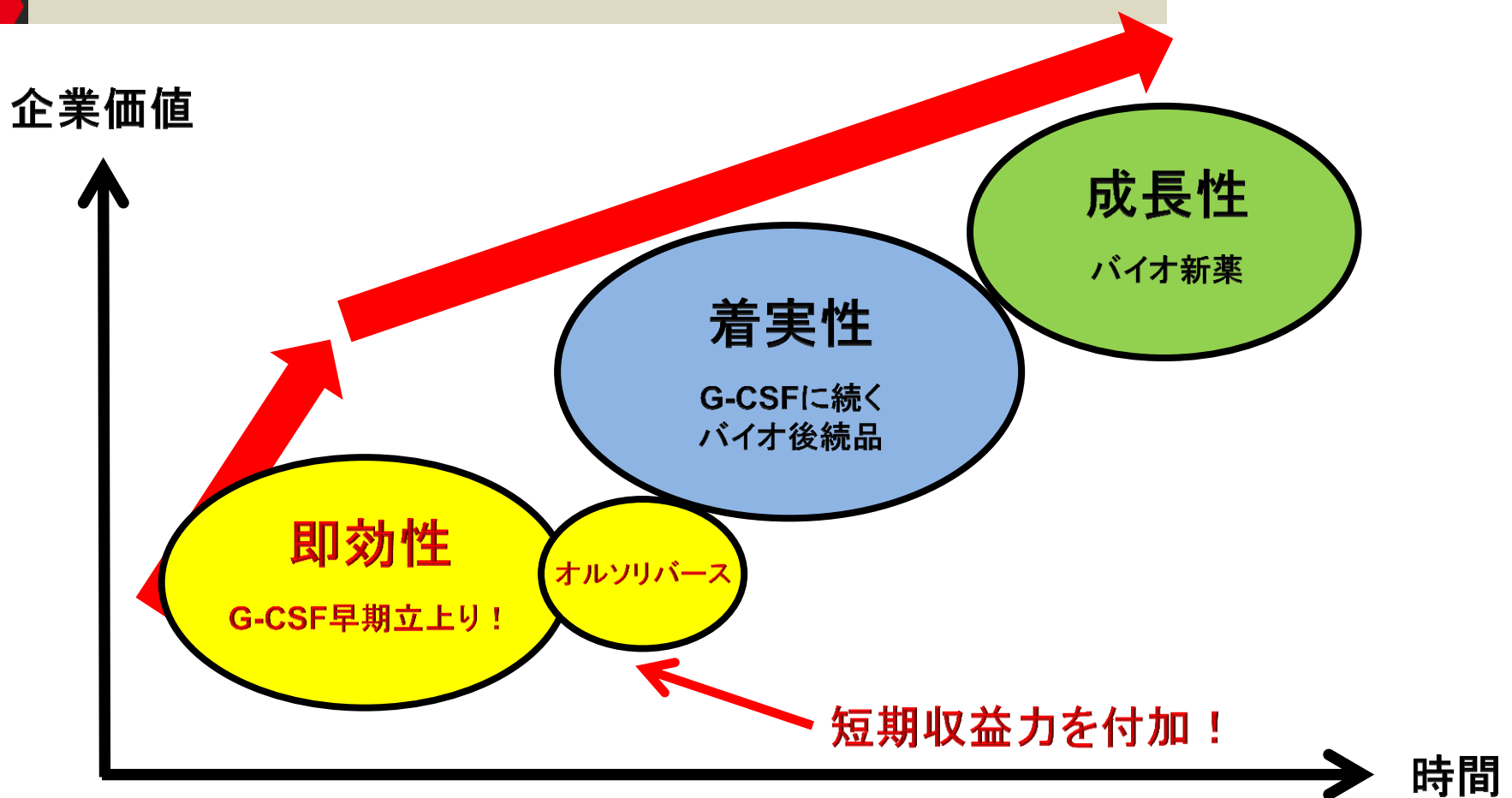
(バイオ後続品に続く収益源として期待！)



業績拡大に向けて加速！



収益性を兼ね備えた魅力的なバイオベンチャーに！



収益性を兼ね備えた画期的バイオベンチャーへ！

今後のジーンテクノサイエンスにご注目下さい！

 **ご注意事項**

本資料は投資家の参考に資するため、株式会社ジーンテクノサイエンス(以下、弊社)の現状を理解していただくため作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点で一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

 **お問い合わせ先**

管理部
TEL 011-876-9571

ゼロからはじまる、無限の創薬力